

# 茗荷良則 学位論文審査要旨

主 査 大 槻 明 広  
副主査 黒 沢 洋 一  
同 尾 崎 米 厚

## 主論文

The effects of preoperative alcohol, tobacco, and psychological stress on postoperative complications: a prospective observational study

(術前のアルコール、タバコおよび心理的ストレスが術後合併症に及ぼす影響：前向き観察研究)

(著者：茗荷良則、眞鍋治彦、尾崎米厚)

令和3年 BMC Anesthesiology 21巻 245

## 参考論文

1. Changes in smoking behavior among victims after the great East Japan earthquake and tsunami

(東日本大震災と津波の被害者における喫煙行動の変化)

(著者：尾崎米厚、真栄里仁、美濃部るり子、金城文、桑原祐樹、今本彩、茗荷良則、松下幸生、樋口進)

令和2年 Environmental Health and Preventive Medicine 25巻 19

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は2015年3月から2016年4月の成人手術患者730人を対象に、術前の飲酒・喫煙習慣・心理的ストレスと術後合併症発生との関連について検討したコホート研究である。アルコールとニコチンの依存度はAUDITとFTNDで評価し、心理的ストレスはHADSと公衆衛生分野で使用されているK6で評価した。多重ロジスティック回帰分析を用いて、既知の術後合併症の予測因子を調整して、飲酒および喫煙習慣と心理的ストレスの関連を解析し、K6で評価した心理的ストレスが術後合併症の有意な危険因子であった。術前の飲酒・喫煙に関する因子は術後合併症と有意な関連を認めなかったが、本論文の内容は術前の禁酒・禁煙の有用性を否定するものではなく、心理的ストレスも術後合併症の有用な予測因子であり、術前介入が重要であることを示した。K6が臨床現場においても有用な心理的ストレスのスクリーニングテストである可能性を示唆したもので、明らかに学術水準を高めたものと認める。